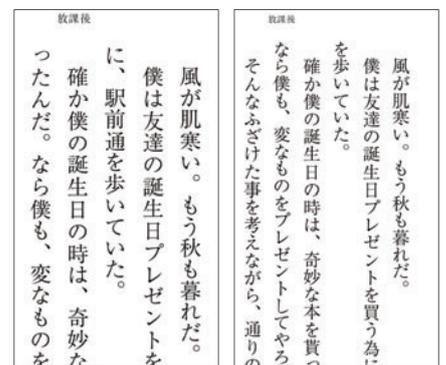
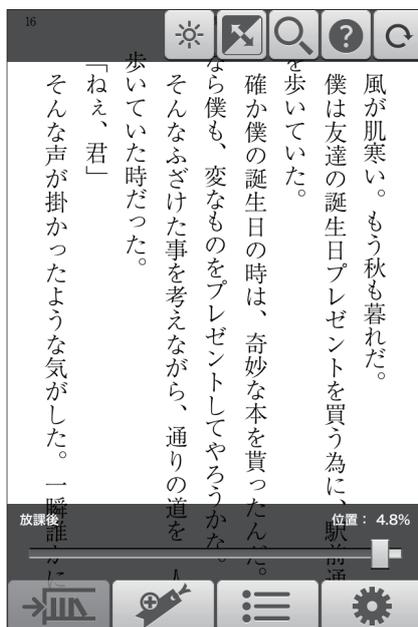


電子書籍制作のご案内

多数存在する電子書籍フォーマット。
当社でも様々なフォーマットの研究を進めております。
現在ご提供できるサービスをご紹介しますとともに、
現状の電子書籍事情を解説します。

◎ MCBook 形式



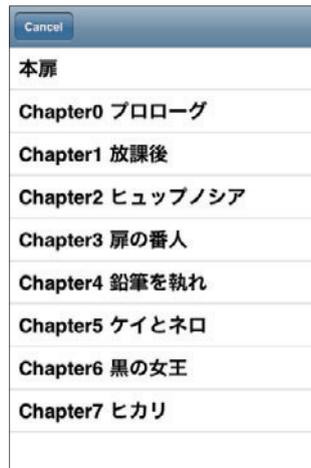
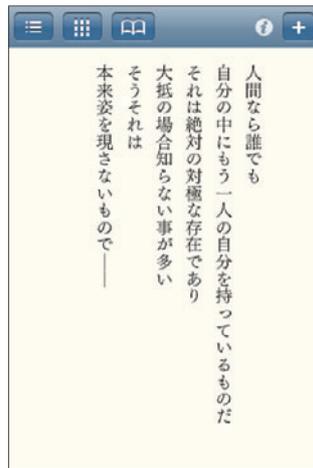
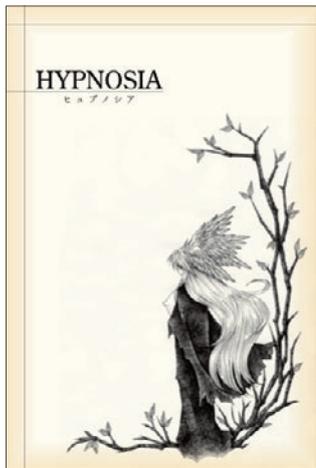
モリサワの書体が使え、電子ブックとしては高い表現能力を誇るリフロー系のフォーマットで、iPhone/iPadおよびAndroidで閲覧できます。文字サイズなど様々な調整が可能です。デザイン・DTPデータからの変換も容易に行うことができ、DTP制作から一貫して当社にご依頼いただくことでスムーズに制作することができます。

◎ Flipper 形式



Flashベースの電子ブックです。ページめくり機能、付箋機能、メモ機能など多彩な機能をご活用いただけます。この形式は、Webサイトでの公開だけでなく、CD/DVDで配布していただくことにも適しています。また、Webサイトで公開した場合は、iPhone/iPad、Androidでの閲覧も可能となっています。電子教材制作などにもご利用いただけます。

◎簡易 iPhone アプリ



目次・サムネイル目次・ブックマークなど、電子ブックとして必要最低限の機能に絞こみ、その分お手軽にご利用いただけるiPhone専用のサービスです。PDFがベースとなりますので、書体や文字の大きさなどは制作時に自由にお選びいただけます。また、動画の埋め込みやWebサイトへのリンクも可能です。自費出版をご希望の方にもオススメです。

■電子書籍のフォーマット

フォーマットは「リフロー系」「画像（ラスターライズ系）」と2つに大別できます。

・リフロー系

読み手が文字サイズなどを変更でき、ページ数が可変する（リフローする）形式です。可変するという特性上、雑誌のような複雑なレイアウトには向きません。主にテキスト主体の書籍で利用されます。

・画像（ラスターライズ）系

PDFや画像をベースとするため、雑誌などの複雑なレイアウトものに向いています。リフロー系に比べデータ容量が大きいというデメリットがあります。雑誌や漫画はほとんどがこの形式です。

■多種多様なファイル形式

リフロー系、画像（ラスターライズ）系それぞれにさらに細かな形式が存在します。そのいくつかを下表に挙げています。米国では、ePUBが事実上のスタンダードになっていますが、日本での状況は混沌としています。どの形式が主流になるのか、それとも各形式が存在し

	ファイル形式	特長
リフロー系	ePUB	米国では標準だが、縦組みやルビなど日本語表現が弱い
	AZW	Kindleのファイル形式
	.book	日本での普及率が高い。縦組みやルビもサポート
	X MDF	
	MCBook	モリサワが開発。制作ツールの完成度が高く、DTPデータとの親和性も高い。
画像（ラスターライズ）系	PDF	世界的に普及率が高く、対応するビューワーも多い
	ebi.j	漫画での普及率が高い
	SpinMedia	主に電子雑誌で使われる

続けるのか、業界全体が未だ様子を窺っているところ です。

■当社でサービス可能な形式

当社でも、様々なフォーマット、ファイル形式の研究を進めており、今回ご紹介する形式についてはサービスの提供を始めています。また、今後XMDFやSpinMediaでの制作サービスも行っていく予定です。

・MCBook形式

リフロー系のフォーマットで、モリサワの書体が使えらるというのが最大の特徴。DTPデータからの変換も用意に行え、印刷物から電子書籍まで一貫した制作フローが構築できます。自動段組処理やルビ表示の有無など、ビューアーの機能も豊富です。もちろん、ページ内に画像や動画を埋め込むことも可能です。

・Flipper形式

Webでの公開を基本としたFlashベースの形式です。PCだけでなく、iPhone/iPad、Androidでの閲覧も可能。豊富な機能を有しながらも、PDFデータから簡単に作成することができる点も特長です。電子書籍だけでなく、CD/DVDで配布する、電子教材にも利用可能です。

・簡易iPhoneアプリ

単体のiPhoneアプリ形式の電子書籍をスピーディーに作成できます。「電子書籍として基本機能があればよい」「時間も予算も限られているが」といったお客様に最適です。

電子書籍の元となるデータは、印刷用のInDesignデータやPDFデータです。当社にご用命いただく際には、DTP作業から一貫して発注していただけると、スムーズです。お気軽に弊社担当営業までご相談ください。